

WPLデザイナー®認定講座

「職場」を「最高の学びの場」へ変革する



「BIDの考え方で研修設計は改善されたけど、現場の行動変容や成果に繋がりづらい」
「社員の自律的な学びが進まない」「現場の管理職を巻き込んだ育成がうまくいかない」
そんなお悩みはありませんか？

本講座は、「職場そのものを学びの場に変える」という、これからの人財育成の鍵となる
「WPL／ワークプレイスラーニング」の仕組みを、貴社で実践できるようになるためのプログラムです。

講座の概要

本講座は、不確実なビジネス環境下で組織のパフォーマンスを向上させ、未来に活躍できる人財を育成するための職場学習環境を設計する「WPLデザイナー」を養成することを目的とします。WPLの理論、フレームワーク、実践ツールの活用方法を体系的に学び、自社の職場環境に合わせたWPLデザインの策定から実行、評価、改善までの一連のプロセスを習得します。

講座の特徴

1

ツールを活用した
リアルな擬似体験

2

「貴社の職場」を
分析・設計

3

WPLデザイン
実践家による支援

STEP1では、現場展開時に起こりうる「壁」や交渉プロセスをケーススタディを通じてシミュレーションします。現場と対話するための即実践可能な手法/ツールを持ち帰ることができます。

STEP2では、ご自身の職場を選定してWPLデザインを行います。現状把握から、従業員やマネジャーの具体的な行動変容プラン策定を通じて、実態に即した学習支援のコツを体得できます。

WPLに精通したファシリテーターが複数名体制でサポートします。WPL推進活動は未経験の方でも高度な演習において迷うことなく質の高い成果物を作成できます。

【受講者の声】

「本だけでは分からない」ところが
ケースを通じて解像度があがりました」
「ツール作成を通じて、1stラインおよび2ndラインマネジャー、人財育成担当者の役割が明確になりました」

【受講者の声】

「調査結果が現場での対話ツールになることを実感しました。」
「設計中に生じた悩みや迷いを即解決することができました」

【受講者の声】

「ケースはもちろんのこと、講師の方のWPL推進プロジェクトの経験談を聞いて、より現場を想像することができました」

認定基準

【STEP 1】

以下の条件を満した方に「修了証」がオープンバッジで発行されます。

■条件

- ①WPLデザイナー®認定講座 STEP1（基礎編）受講
- ②WPLデザイナー®認定講座 STEP1（基礎編）CBT試験の合格

■修了証明

「WPL Basic」（一般社団法人ラーニングプロセスデザイン協会による認定）※「WPLデザイナー®」資格取得への必須要件となります

【STEP 2】

以下の条件を満した方に「認定証」がオープンバッジで発行されます。

■条件

前提条件：STEP1（基礎編）を修了し、WorkPlace Learning Design Basicのバッジを取得

- ①WPLデザイナー®認定講座 STEP2（実践編）受講
- ②所属組織の育成課題に対してのWPLデザインシートの作成及びプレゼンテーションの実施
- ③フィードバックを受け改訂したWPLデザインシート最終版とWPLデザイナー®コンピテンシーシートの提出
- ④WPLデザイナー®コンピテンシーが求められるレベルに到達

■認定証明

「WPLデザイナー®（WPL Designer）」（一般社団法人ラーニングプロセスデザイン協会による認定）

プログラムのグランドデザイン

理論理解とケーススタディ

自組織での実践的な設計



※STEP1終了後、STEP2を半年以内に終了することを原則といたします。

開催概要

日程	STEP 1 2026年5月28日（木）9:30-17:30 2026年5月29日（金）9:30-17:30 STEP 2 2026年6～9月実施予定 ※STEP 1で日程調整	会場	SLHTDMC 研修室 (東京都千代田区)
対象	人材育成/開発部門、教育部門、人事部門の方 (※管理職相当以上の経験がある方)	定員	10名 (最少催行人数 6名)
参加費用	<p>STEP 1 (WPLデザイン基礎編) 特別割引 247,500円（税込）</p> <p>※STEP1の定価 275,000円（税込） ※STEP1には、テキスト、書籍代、交流会費用、CBT受験等すべてを含みます ※STEP2には、お打合せ、資料ダウンロード、WPL調査支援、フィードバック、評価認定料等すべてを含みます</p> <p>STEP 2 (WPLデザイン実践編) 440,000円（税込）</p>		
講師紹介	<p>Morita Akiko 森田 晃子 サンライトヒューマンTDMC株式会社 代表取締役社長＆CEO 熊本大学大学院 教授システム学専攻 非常勤講師 教授システム学修士/ インストラクショナルデザイナー、 compTIA CTT+Classroom Trainer</p> <p>Ishizu Maho 石津 茉歩 ディレクター/ラーニングプロセスコンサルタント 教授システム学修士/インストラクショナルデザイナー、 国家資格キャリアコンサルタント、ワークショップデザイナー</p> <p>Nozoe Kouji 野添 晃司 サンライトヒューマンTDMC株式会社 常務執行役員 & COO 日本評価学会認定評価士、Prince2 認定コーチ、認定アクションラーニングコーチ、 compTIA CTT+Classroom Trainer、 compTIA CTT+Virtual Classroom Trainer</p> <p>Hayakawa Katsuo 早川 勝夫 シニアアドバイザー/ラーニングプロセスコンサルタント 教授システム学修士/インストラクショナルデザイナー、 認定アクションラーニングコーチ、コンプライアンスオフィサー</p>		



WPLデザイナー認定講座 STEP1 WPLデザイン基礎編

学習目標

ケーススタディを通じて、以下の学習目標が達成されます。

【Day1】

・職場（ファーストライン）の責任者であるラインマネジャーの立場に立って、WPLデザイン（現状分析、目標設定、施策検討）をする中で、WPLの中核を為す経験学習を効果的に回すために必要なことの理解と方法を習得できます。

【Day2】

・ラインマネジャーを支援するセカンドラインマネジャー、組織全体の職場学習を支援するWPLデザイナーの立場に立って、組織全体（主にセカンドライン）の職場をイメージしながらWPLデザインや運用を検討する中で、WPLプロジェクトを回すための考え方や方法を習得できます。

事前課題

本講座では、受講前に事前課題に取り組んでいただきます。

目的 :

書籍『WPL3.0』の内容を「自分ごと化」し、対面講座でのケーススタディやワークにスムーズに接続できるようにします。

また、自社・自部門における職場学習の現在の“課題感”的解像度を高めます。

内容 :

課題レポート作成 A4 1枚程度



集合研修アジェンダ

講師からのインプット、個人ワーク、ペアワーク、グループワーク、全體討議などを組み合わせた参加型プログラムとなっています。

WPLデザイン基礎編

事前課題

ケースで学ぶ
集合研修
(2日間)

CBT受験

WPLデザイン・
ベーシック
修了

Day1 5/28 (木)		Day2 5/29 (金)	
イントロダクション	目的、進め方、事前課題の共有		
WPLデザインとは	職場の定義、WPL推進の全体像		
【ケーススタディ①】 1 st ラインマネジャーの目線でのWPLデザイン			
現状分析	ケースインプット①		
職場の施策検討	従業員の職場学習を推進する施策の検討		
戦略のまとめ	1 st ラインマネジャーが描くWPL戦略		
経験学習の整理	ツールを用いた振り返りのポイント		
【ケーススタディ②】 2 nd ラインマネジャーの目線でのWPLデザイン			
メッセージ伝達	WPL推進の“Why”を語るワーク		
現状分析	ケースインプット②		
Day1ラップアップ			
交流会			
		WPLデザイナーの心得と STEP2ガイダンス	CBT受験およびSTEP2の個人プロジェクト（WPL調査・デザイン策定）に向けた具体的なガイダンスと質疑応答
		総合リフレクション	

WPLデザイナー認定講座 STEP 2 WPLデザイン実践編

學習目標

(※STEP2の詳細はSTEP1の講座内でご案内します)

STEP2では、STEP1のケーススタディを踏まえて貴社のリアルな職場（1か所を選択）を扱います。
※このステップは「コンサルティング」に相当します。

このステップを通じて、以下の**学習目標**が達成されます。

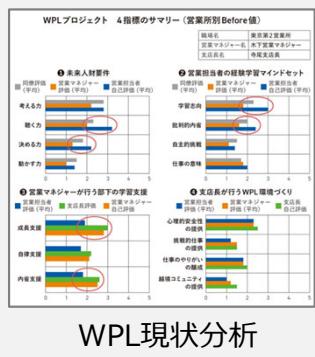
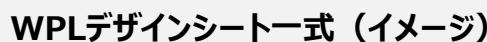
貴社内で選択した1つの「職場」でWPL調査を実施・分析した結果をもとに、活きたWPLデザインを行うことで、貴社内で学習を支援するための行動を起こすコツを習得します。

- ・現在のWPL基準値を把握する
 - ・自社が目指す人財像、WPLパーカスと人財ビジョンを策定する
 - ・WPL推進の4つの要素「人財の能力要件」「従業員の行動」「ラインマネジャーの行動」「エグゼクティブの行動」に関する具体的な指標を決定する
 - ・決定したパーカス、ビジョン、各指標を統合し、WPLキャンバス、アクションマップ、スケジュールを完成させる

プログラム詳細



ご受講者様の学び		SLHによるご支援・伴走
1.プロジェクトの準備と職場選定	<ul style="list-style-type: none"> ・WPLを推進する1職場（部署・チームなど）を選定 ・WPLストラクチャを用いて対象を明確化 ・上司/責任者の承認を得る 	①WPL調査アンケートフォームの提供や集計のご支援、質疑応答
2. 調査・現状分析	<ul style="list-style-type: none"> ・選定した職場でWPL調査実施 	
3. WPLデザイン策定	<ul style="list-style-type: none"> ・WPLデザインシート一式作成 ・プロジェクトプラン作成 	②個別プレゼンテーションに向けて提出されたWPLデザインの確認
4. 発表会と質疑応答	<ul style="list-style-type: none"> ・自社で策定したWPLデザインを発表 ・発表後、講師陣からの質疑応答とフィードバック 	プレゼンテーション内容に対するフィードバックと解説
5. WPLデザイン修正	<ul style="list-style-type: none"> ・フィードバックを踏まえてWPLデザイン修正 	③提出された最終版のWPLデザインシートおよび最終レポートをアセスメントし、認定する
6. 認定	<ul style="list-style-type: none"> ・認定基準に基づき、総合的な評価を実施し、合格者には「WPLデザイナー認定証」を発行 	



マクロスケジュール

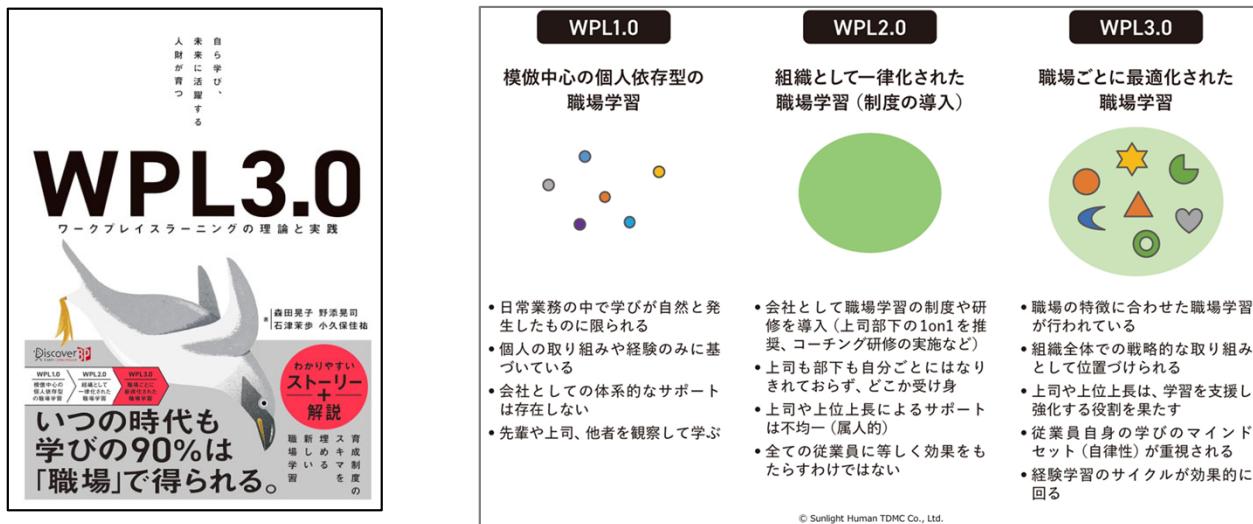
その他オリジナルのシート
をご用意しております

WPL3.0とWPLデザインとは

■ WPL3.0とは

ワークプレイスラーニング (Workplace Learning/WPL)とは、「個人や組織のパフォーマンスを改善する目的で実施される学習とその他の介入の統合的な方法」(Rothwell & Sredl(2000)のことです。

WPLの概念は、下図のように、WPL1.0、WPL2.0、WPL3.0の3段階に分けられると私たちは考えています。書籍「WPL3.0」では、特に「WPL3.0」の世界、不確実な未来において活躍できる人財が育つように、個々人の自律的な学習を引き出す「経験学習」をベースとした職場ごとに最適化された学習支援が行われている状態の必要性と目指すための方法を具体化しています。



■ WPLグランドデザインとは

WPL3.0を実現するには、各職場においてWPLを体系的に整理することが大切だと考えています。

職場において、人財育成で目指す目的 (WPLバーバス) を掲げたうえで、どのような人財になってほしいと考えているのか、そのような人財になってもらうために、本人、上司、組織としてはどのように学習を推進しようと考えているのかをまとめたのが、WPLグランドデザインであり、これらを自組織で整理するために活用するのが、「WPLキャンバス」です。

本講座では、ケーススタディ、自組織のWPLデザインにおいても、この「WPLキャンバス」を用いてWPLデザイン手法を学んでいただきます。



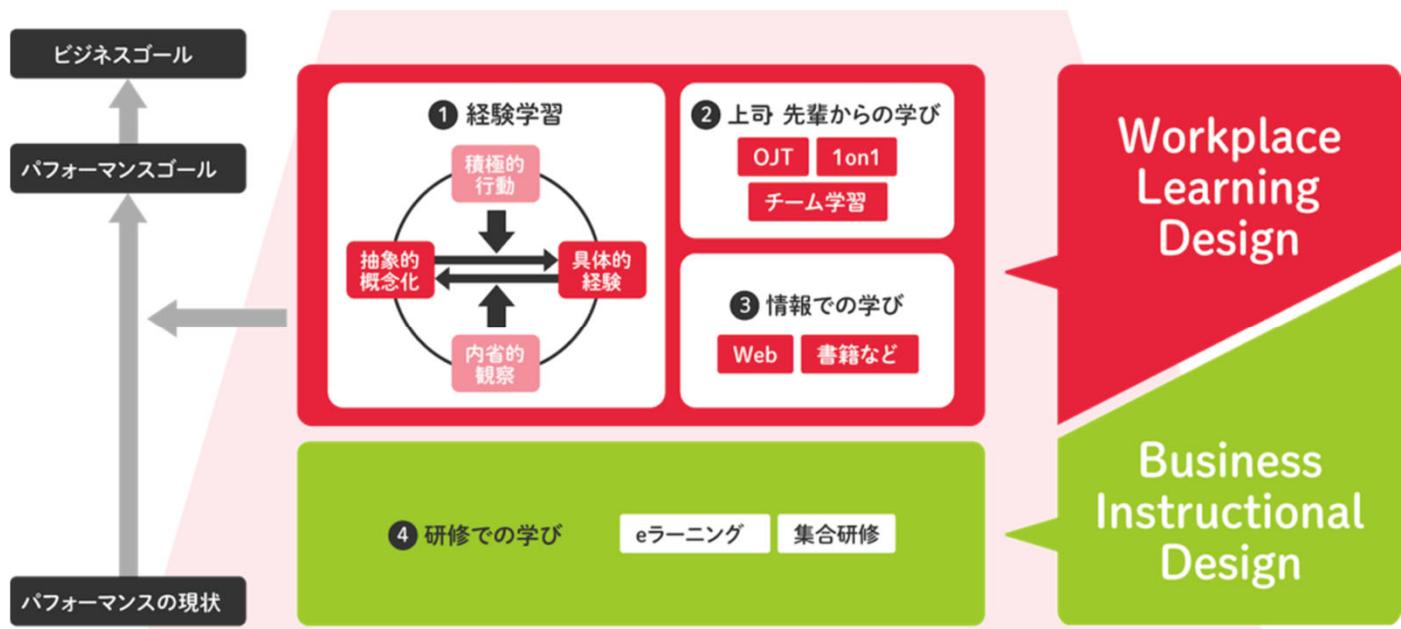


SUNLIGHT
HUMAN
TDMC
slhtdmco.jp

サンライトヒューマンTDMCは、
「持続的に成長する人と組織」を創り上げるための企業内教育を、
独自の**BID (Business Instructional Design®)** と
WPLデザイン® (Workplace Learning Design)
メソッドに基づき、貴社のニーズにオーダーメイドでご支援いたします。

Learning Process Design®

ビジネス上のゴールの達成に向けて「持続的に成長する人と組織」を創り上げるための企業内教育を**2つのデザイン手法「BID」と「WPLデザイン」**でオーダーメイドで支援します。
重視するのは、単なる研修の提供ではなく「共創」のプロセス。伴走を通じて、最終的にはお客様自身で教育をアップデートし続けられる仕組みを整え、人や組織が本来持つ「自己成長能力」を最大限に引き出します。



研修軸のアプローチ

ビジネスインストラクショナルデザイン Business Instructional Design®

私たちの強みは、インストラクショナルデザインを軸にした独自のメソッド「ビジネスインストラクショナルデザイン」です。効果的、効率的、魅力的な研修をデザインし、実行するための知見を蓄積してきました。このメソッドは、企業の教育担当者の能力開発を支援し、研修の成果を最大化するための強力なツールです。

職場学習軸のアプローチ

ワークプレイスラーニングデザイン Workplace Learning Design™

研修だけではなく、実践を通じた学びが重要だと考えています。私たちは「ワークプレイスラーニングデザイン」という手法を用いて、自律的に学び続ける人財を育成するための職場学習環境を整えるコンサルティングを行っています。これにより、社員が自身の経験を最大限に活用し、成長できる環境を提供します。

